

# 第1学年 国語科指導案

日 時：令和元年11月27日（水）5校時  
場 所：清水小学校 1年生教室  
授業者：横山 恵

## 1 単元名：「くらべてよもう / じどう車くらべ」

## 2 単元目標

この単元に関わって、学習指導要領には、以下のような内容が述べられている。

### 1 知識及び技能

- (1) エ 第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。  
ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

### 2 思考力、判断力、表現力等

#### C 読むこと

- (1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。  
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。  
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。  
カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。  
(2) ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。

## 3 研究内容に関わって

### (1) 研究内容Ⅰ「つけたい力を明確にした単元指導計画の工夫」

#### 子どもの出口の姿(評価)を明確にする授業づくり

単元を貫く課題を、『自動車の「しごと」とそのための「つくり」が分かる「じどう車図鑑」をつくろう。』と設定する。これを達成するために、以下のことが必要になると考えられる。

- ・本文から自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜くことができる。
- ・「しごと」と「つくり」の関係性を考えることができる。
- ・自分が選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」をつなげて説明する文章を書くことができる。

そこで、単元の「きよみずガエル君」を

じどう車の「しごと」と「つくり」をよみとれたケロッ?

じどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて、つながりにきをつけて文をかくことができたケロッ?

と設定し、それを提示することで自らの学習に見通しをもって活動に取り組む。

※単元の「きよみずガエル君」とは、自己評価の視点を明確にし、児童一人一人が見通しをもって単位時間あたりの活動に取り組むために教師が提示するもの。

### (2) 研究内容Ⅱ「豊かな表現力を身に付けるための学習過程の工夫」

#### 児童が思考力・判断力・表現力の高まりを自覚するための教師の手立て

##### ① 第3ブロック:まとめる

- ・クレーン車の「しごと」と「つくり」についての理解を深めるために、ペアで、話型に沿ったインタビュー活動を行う。
- ・「しごと」に対して「つくり」が2つ書いてあることと、「そのために」で文が繋がっていることを再確認できるように、ワークシートに「しごと」と「つくり」を書き込むようにする。

##### ② 第2ブロック:深める

- ・「しごと」と「つくり」を色分けして線を引いたり、挿絵の中の「つくり」だと思ふところに丸をつけたり本文と線をつないだりする活動を行い、視覚的に理解できるようにする。
- ・「しごと」のための「つくり」になっていることの意味を深めるために、模型を示したり、問い返しをしたりする。
- ・既習の自動車と比べながら話している児童の考えを価値付け、広める。

##### ③ 第1ブロック:つかむ

- ・前時までの学習を、掲示物を使って振り返ることで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。
- ・クレーン車の挿絵を見せて関心を高め、「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」と2つの問いを掲示し、本時の課題を設定する。

4 単元指導計画 第1学年 「じどう車くらべ」 全12時間 A:知識及び技能 B:思考力, 判断力, 表現力等 C:学びに向かう力, 人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 じどう車の「しごと」と「つくり」をよみとれたケロッ? じどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて, つながりなきをつけて文をかくことができたケロッ?			
次時	1	2	3	4
ねらい	「じどう車」の説明文を読むことに興味をもち, 学習の見通しをもつことができる。	「どんなしごとをしていますか」「どんなつくりになっていますか」の文に着目して最初に2つの問いがあることに気づき, いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」を読み取る学習の見通しをもつことができる。	「人をのせてはこぶ」「ぎせき」「ひろく」「おおきなまど」の言葉に着目し, 本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」の文のまとまりに気づき, バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読むことができる。	「にもつをはこぶ」「ひろいにだい」「おもいにもつ」「タイヤがたくさん」の言葉に着目し, 本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」の文の順番に気づき, トラックの「しごと」と「つくり」を読むことができる。
学習活動	1. 挿絵を見て, どんな自動車があるか発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">じどう車について知っていることを発表しよう。</div> 2. 自動車について知っていることを交流する。 3. 全文を音読し, 思ったことを発表する。 4. 昨年度の児童の自動車図鑑を紹介し, 「じどう車くらべ」を学習して, 自分で自動車図鑑を作ることを確認する。	1. 教科書で取り上げている自動車を確認する。 2. 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「じどう車くらべ」をよんで, といのぶんをたしかめよう。</div> 3. 問いの文について話し合う。 4. 全文を読んでそれぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を見つけていくことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">それぞれの自動車は, どんなしごとをしていますか。 そのために, どんなつくりになっていますか。</div>	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">バスとじょうよう車のしごととつくりをよみとろう。</div> 3. 学習場面を音読する。 4. 「一人読み」をして, バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を見つける。 5. 読み取った内容を全体交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして, 広い座席や大きな窓がたくさんあるのだろう。</div> 6. ペアでインタビュー活動をする。 7. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">バスやじょうよう車は人をのせてはこぶしごとをしています。 そのために, ぎせきのところがひろくつくってあります。大きなまどがたくさんあります。</div> 8. 学習の振り返りをする。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">トラックのしごととつくりをよみとろう。</div> 3. 学習場面を音読する。 4. 「一人読み」をして, トラックの「しごと」と「つくり」を見つける。 5. 読み取った内容を全体交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして, 広い荷台やたくさんタイヤがついているのだろう。</div> 6. ペアでインタビュー活動をする。 7. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">トラックは, にもつをはこぶしごとをしています。 そのために, うんてんせきのほかはひろいにだいになっています。タイヤがたくさんついています。</div> 8. 学習の振り返りをする。
評価規準	自動車について知っていることを発表したり, 昨年度の児童の自動車図鑑を見たりして, 学習の見通しをもって「じどう車くらべ」の説明文を読むことに興味をもっている。 (発言)【C】	「どんな～ですか。」「しごと」「つくり」に着目し, 問いの文は2つあり, それぞれの「しごと」と「つくり」を読んでいる。 (発言・ノート)【B】	本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」の文のまとまりになっていることに気づき, バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読んでいる。 (発言・ワークシート)【B】	本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」の文の順番に気づき, トラックの「しごと」と「つくり」を読んでいる。 (発言・ワークシート)【B】
並行読書	「はたらくじどう車しごととつくり シリーズ」小峰書店編集部 編(小峰書店), 「はたらくじどう車シリーズ」海老原 実宜男(国土社) 「くらべてみようはたらくじどう車 シリーズ」市瀬 義雄(金の星社), 「はたらくじどう車スーパーずかん シリーズ」小賀野 実(ポプラ社)			

4 単元指導計画 第1学年 「じどう車くらべ」全12時間 A:知識及び技能 B:思考力, 判断力, 表現力等 C:学びに向かう力, 人間性等

単元	<b>単元のきよみずガエル君</b> じどう車の「しごと」と「つくり」をよみとれたケロッ? じどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて, つながりなきをつけて文をかくことができたケロッ?		
次	2		3
時	5 (本時)	6	7・8
ねらい	「おもいものをつり上げる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などの言葉に着目し, 本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」を「そのために」でつなぐことに気付き, クレーン車の「しごと」と「つくり」を読むことができる。	はしご車の挿絵や児童の経験をもとに話し合うことを通して, はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえ, 既習の文章構成や「そのために」を使って, はしご車を説明する文を書くことができる。	自動車図鑑などから好きな自動車を選んで読み, 「しごと」とそのための「つくり」を見付けて「見つけカード」に書くことができる。
学習活動	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 クレーン車のしごととつくりをよみとろう。 3. 学習場面を音読する。 4. 「一人読み」をして, クレーン車のしごととつくりを見つける。 5. 読み取った内容を全体交流する。 どうして, トラックにはないじょうぶな腕やしっかりした脚がついているのだろう。 6. ペアでインタビュー活動をする。 7. 本時のまとめをする。 クレーン車はおもいにもつをつり上げるしごとをしています。 そのためにじょうぶなうでがのびたりうごいたりするようにつくってあります。しっかりしたあしがついています。 8. 学習の振り返りをする。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて, 「じどう車カード」を書こう。 3. はしご車の「しごと」と「つくり」について考え, 考えた内容を交流する。 火事の時, 高いところにいる人を助ける「しごと」をするために, どんな「つくり」になっていますか。 4. はしご車の「じどう車カード」を書く。 5. ペアでインタビュー活動をする。 6. 代表の発表を聞き, 本時のまとめをする。 はしご車はかじのときに人をたすけるしごとをしています。 そのためにながいはしごがついています。車たいがかたむかないようにしっかりしたあしがついています。 7. 学習の振り返りをする。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 えらんだじどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて, 「見つけカード」を書こう。 3. 選んだ自動車の絵を「見つけカード」に描き, どんな「しごと」をして, どんな「つくり」になっているかを考えて書き込む。 4. 「見つけカード」に, 「なまえ」「しごと」とそのための「つくり」を文章で書く。 5. 「見つけカード」の読み返しをする。 なまえ きゅうきゅう車 しごと けがをした人や, びょうきの人を, びょういんにはこぶしごとをしています。 つくり うんてんせきの後ろは, 人をねかせることができるようになっています。 6. 学習の振り返りをする。
評価規準	本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して, 「しごと」と「つくり」を「そのために」でつなぐことに気付き, クレーン車の「しごと」と「つくり」を読んでいる。 (発言・ワークシート) 【B】	「しごと」とそれにあつた「つくり」を絵から選び出し, 事柄の順序に沿って「そのために」でつなぐ, つながりのある文を書いている。 (発言・ワークシート) 【B】	選んだ自動車の「しごと」をとらえ, 「しごと」と「つくり」に合う「つくり」を見付け, 「見つけカード」に書き込んでいる。 (見つけカード) 【B】
並行読書	「はたらくじどう車しごととつくり シリーズ」小峰書店編集部 編 (小峰書店), 「はたらくじどう車シリーズ」海老原 実宜男 (国土社) 「くらべてみようはたらくじどう車 シリーズ」市瀬 義雄 (金の星社), 「はたらくじどう車スーパーざかん シリーズ」小賀野 実 (ポプラ社)		

4 単元指導計画 第1学年 「じどう車くらべ」全12時間 A:知識及び技能 B:思考力,判断力,表現力等 C:学びに向かう力,人間性等

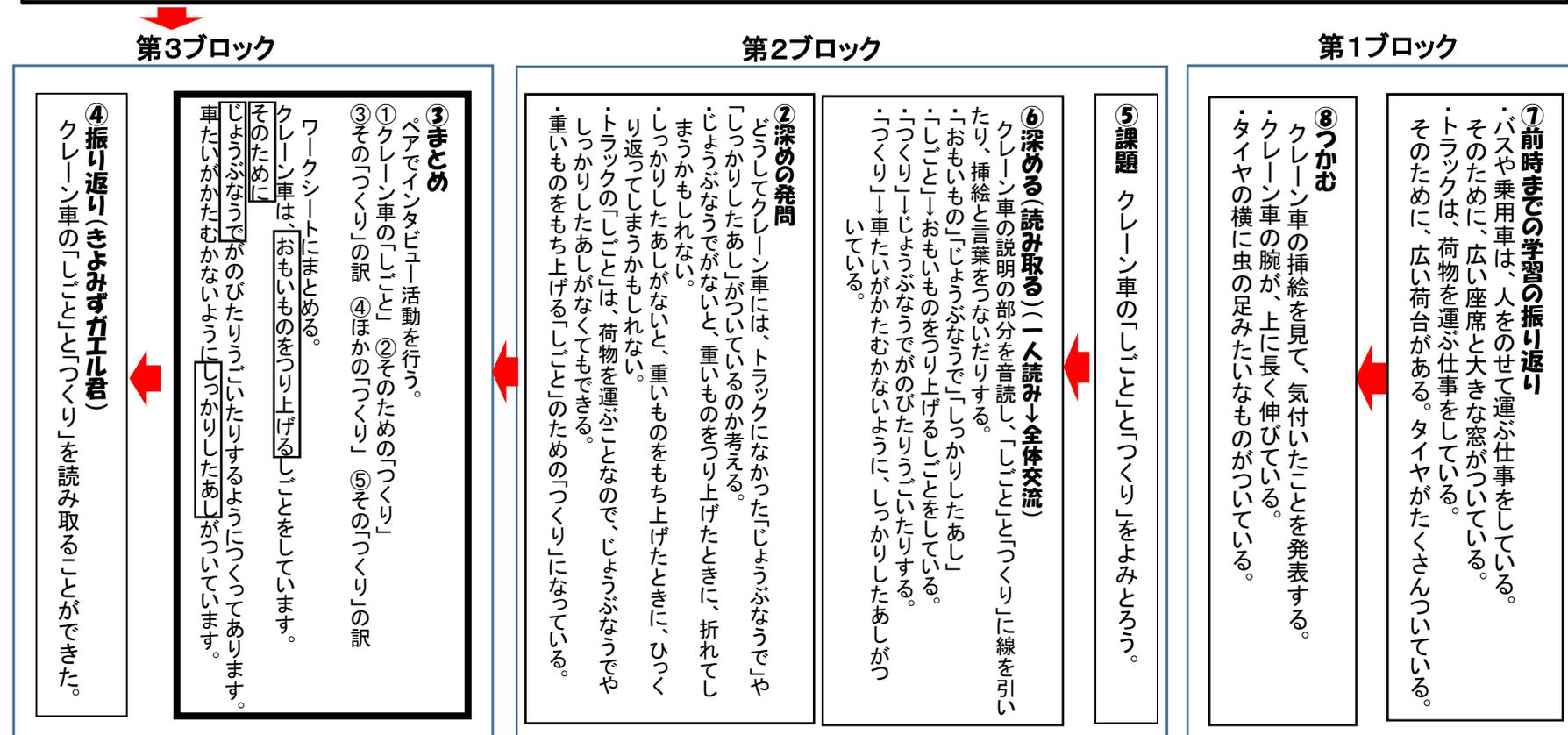
単元	<b>単元のきよみずガエル君</b> じどう車の「しごと」と「つくり」をよみとれたケロッ? じどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて,つながりにきをつけて文をかくことができたケロッ?		
次	3		
時	9・10	11	12
ねらい	自動車図鑑等で調べて書いた「見つけカード」を使って,「しごと」と「つくり」のつながりのある文章を書くことができる。	下書きを見直し,文章を書くときの約束を守って,清書することができる。	自分の作った自動車図鑑を見せ合い,友だちのよさを見付けることができる。
学習活動	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     「見つけカード」をつかって,つながりにきをつけて,「じどう車ずかん」の下がきをしよう。                 </div> 3. 「見つけカード」をもとにして,「しごと」と「つくり」をつないで「じどう車カード」の下書きをする。 4. ペアでインタビュー活動をする。 5. 代表ペアの発表を聞き,感想を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ショベルカーは,土をほるしごとをしています。そのため大きなショベルがついています。でこぼこなみちもすすむようにキャタピラがついています。                 </div> 6. 学習の振り返りをする。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ていねいな字で,「じどう車ずかん」のせいしょをしよう。                 </div> 3. 下書きを見直し,「しごと」と「つくり」が合っているか確かめる。 4. 句読点や文字が正しいかを確認,「じどう車カード」の清書をする。 5. 「つくり」がよく分かるように,絵を描く。 6. 学習の振り返りをする。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     じどう車ずかんをかんせいして,みんなでよみあおう。                 </div> 3. ページや目次,表紙を付けて,図鑑を完成させる。 4. 学級の友だちに自動車図鑑を紹介する。 5. 班の友だちにメッセージカードを書く。 6. 学習の振り返りをする。
評価規準	「しごと」とそれに合った「つくり」を「見つけカード」から選び出し,事柄の順序に沿って「そのために」を使ってつながりのある文を書いている。 (下書き)【B】	文章を書く時の約束を守って,正しく丁寧な字で図鑑を仕上げている。 (じどう車カード)【A】	友だちの図鑑の「しごと」や「つくり」のよさを見つけ,伝えている。 (発言・メッセージカード)【B】
並行読書	「はたらくじどう車しごととつくり シリーズ」小峰書店編集部 編(小峰書店),「はたらくじどう車シリーズ」海老原 実宜男(国土社) 「くらべてみようはたらくじどう車 シリーズ」市瀬 義雄(金の星社),「はたらくじどう車スーパーずかん シリーズ」小賀野 実(ポプラ社)		

## 5 本時の展開

1 本時のわらい 「おもいものをつり上げる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などの言葉に着目し、本文と挿絵を関連付けて話し合うことを通して、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

### 2 本時の展開

①単元のきよみずガエル君 じどう車の「しごと」と「つくり」をよみとることができたケロツ？ じどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて、つながりにきをつけて文をかくことができたケロツ？



・クレーン車の「しごと」と「つくり」についての理解を深めるために、ペアで、話型に沿ったインタビュー活動を行う。  
 ・「しごと」に対して「つくり」が2つ書いてあること、「そのために」で文がつながっていることを再確認できるように、ワークシートに「しごと」と「つくり」を書き込むようにする。

・「しごと」と「つくり」を色分けして線を引いたり、挿絵の中の「つくり」だと思ふところに丸をつけたり本文と線でつないだりする活動を行い、視覚的に理解できるようにする。  
 ・「しごと」のための「つくり」になっていることの理解を深めるために、模型を示したり、問い返しをしたりする。  
 ・既習の自動車と比べながら話している児童の考えを価値付け、広める。

・前時までの学習を掲示物を使って振り返ることで、本時の学習の見直しをもつことができるようにする。  
 ・クレーン車の挿絵を見せて関心を高め、「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」と2つの問いを掲示し、本時の課題を設定する。

並行読書 「はたらくじどう車しごととつくり シリーズ」小峰書店編集部 編(小峰書店)、「はたらくじどう車シリーズ」海老原 実宜男(国土社)「くらべてみようはたらくじどう車 シリーズ」市瀬 義雄(金の星社)、「はたらくじどう車スーパーずかん シリーズ」小賀野 実(ポプラ社)